清水港旧４号上屋活用業務

様式集

令和７年５月

静岡県交通基盤部港湾局港湾振興課

（様式第１号）

令和７年　　月　　日

静岡県知事　鈴木　康友　様

所在地又は住所

申請者　名称

代表者の氏名 　　　　　　　印

（代表者の氏名を自署する場合、押印不要）

清水港旧４号上屋活用業務公募参加表明書

清水港旧４号上屋活用業務の公募に参加することを表明します。

連絡担当者

　所　　属

　担当者名

　電話番号

　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ

（様式第１号－２）

グループ構成員

グループの名称

構　　成　　員

所　 在 　地

名　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　印

所　 在 　地

名　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　印

所　 在 　地

名　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　印

所　 在 　地

名　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　印

所　 在 　地

名　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　印

（様式第２号）

暴力団に該当しない旨の誓約書

当法人（当団体）は、下記１及び２のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１　契約等の相手方として不適当なものとして次に掲げるもの

(1)　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号。以下「法」という｡）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ｡）

(2)　暴力団員等（暴力団員（法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ｡）又は暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者をいう。以下同じ｡）

(3)　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしているもの

(4)　役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して財産上の利益の供与又は不当に有利な取扱いをする等直接的かつ積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与しているもの

(5)　役員等が、暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有しているもの

(6)　役員等が、その相手方が(1)から(5)のいずれかに該当するものであることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結しているもの

２　契約の相手方として不適当な行為をするものとして次に掲げるもの

(1)　暴力的な要求行為を行うもの

(2)　法的な責任を超えた不当な要求行為を行うもの

(3)　取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行うもの

(4)　偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行うもの

(5)　その他前各号に準ずる行為を行うもの

令和７年　　月　　日

住　　　　所

商号又は名称

氏名（代表者）

（様式第２号別添）※暴力団に該当しない旨の誓約書添付資料

役　員　等　名　簿

所　在　地

会　社　名

作成担当者

連　絡　先

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 役　職 | 氏名 カナ | 氏名　漢字 | 生年月日 | 性別 |
| 例 | （記入例）  代表取締役 | ｼｽﾞｵｶ ｲﾁﾛｳ | 静岡　一郎 | S35.8.16 | 男 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |

（様式第３号）

清水港旧４号上屋活用業務に関するグループ協定書

（目的）

第１条　○○○、○○○、……の○社は、清水港旧４号上屋活用業務（以下、「本業務」という。）の事業者募集にあたりグループを結成し、申請関係書類の作成、提出を行い、本業務を連帯して履行することを目的とする。

（名称）

第２条　グループの名称は、○○○○（以下「当グループ」という。）とする。

（事務所の所在地）

第３条　当グループは、事務所を○○県○○市○○町○○番地に置く。

（成立の時期及び解散の時期）

第４条　当グループは、　　年　　月　　日に成立し、本業務完了後に解散する。ただし、静岡県が当グループ以外のものを本業務の事業者に指定したときは、その時点で解散する。

２　前項の解散の時期は、構成員○社の協議により、これを延長することができる。

（構成員の所在地及び名称）

第５条　当グループの構成員は、次のとおりとする。

　所 在 地

　名　　称

　代表者名

　所 在 地

　名　　称

　代表者名

（代表者の名称）

第６条　当グループは、○○○を代表者とする。

（代表者の権限）

第７条　当グループの代表者は、次に掲げる事項についての権限を有するものとする。

　(1) 申請関係書類の作成及び提出

　(2) 静岡県との管理運営業務についての協定書の締結

（構成員の責任）

第８条　各構成員は、本業務の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

（権利義務の譲渡の制限）

第９条　本協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することはできない。

（構成員の脱退に対する措置）

第10条　構成員は、静岡県及び構成員の承認がなければ、本業務の履行を完了する日までは脱退することができない。

２　構成員のうち本業務の履行を完了する日前において前項の規定により脱退したものがある場合においては、残存構成員が連帯して本業務を履行する。

（構成員の破産又は解散に対する措置）

第11条　構成員のうちいずれかが本業務の履行を完了する日前において破産又は解散した場合においては、前条第２項を準用する。

（協定書に定めのない事項）

第12条　この協定書に定めのない事項については、構成員○社の協議により定めるものとする。

○○○外○社は、上記のとおり清水港旧４号上屋活用業務に関するグループ協定を締結したので、その証拠としてこの協定書○通を作成し、各通に構成員が記名押印し、各自所持するものとする。

令和７年　　月　　日

所 在 地

名　　称

代表者名　　　　　　　　　　　　　印

所 在 地

名　　称

代表者名　　　　　　　　　　　　　印

（様式第４号）

令和７年　　月　　日

委　　任　　状

　静岡県知事　鈴木　康友　様

　グループの名称

　　構 成 員　　所 在 地

　　　　　　　　名　　称

　　　　　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　所 在 地

　　　　　　　　名　　称

　　　　　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　印

　私は、下記のグループ代表者を代理人と定め、当グループが存続する間、次の権限を委任します。

受任者

　　　　　　　　　所 在 地

グループ代表者　名　　称

　　　　　　　　　代表者名

委任事項

１　清水港旧４号上屋活用業務公募申請関係書類の作成及び提出

２　静岡県との清水港旧４号上屋活用業務についての協定書の締結

（様式第５号）

令和７年　　月　　日

企画提案書提出届

　静岡県知事　鈴木　康友　様

所在地又は住所

申請者　名称

代表者の氏名 　　　　　　　印

（代表者の氏名を自署する場合、押印不要。）

清水港旧４号上屋活用業務事業者募集要項に基づき、企画提案書を提出します。

連絡担当者

　所　　属

　担当者名

　電話番号

　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ

（様式第６号）

清水港旧４号上屋活用業務

企画提案書

（表紙）

令和７年　月

（申請者名）

（様式第６号－２）

【　項目名　（例：運営の基本方針）　　】

|  |
| --- |
| ※業務の具体的な実施方法等（図表を含む）を記載してください。（フォントサイズ12pt以上） |

（様式第７号）

令和７年　　月　　日

取　　下　　書

　静岡県知事　鈴木　康友　様

所在地又は住所

申請者　名称

代表者の氏名 　　　　　　　印

（代表者の氏名を自署する場合、押印不要。）

清水港旧４号上屋活用業務の公募への参加表明書を令和　年　月　日に提出しましたが、都合により申請を取り下げます。

（様式第８号）

質　　問　　書

提出日　令和７年　　月　　日

［連絡先］

|  |  |
| --- | --- |
| 会 社 名 |  |
| 担当者名 |  |
| 電　　話 |  |
| メールアドレス |  |

［質　問］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 募集要項の  ページ・行 | 質問内容 | 回　答 |
|  |  |  |

※ 本書は電子メールにより提出すること。Email:kouwan\_shinko@pref.shizuoka.lg.jp

　 件名は「清水港旧４号上屋活用業務質問書」とすること。